

RoHS 指令 分析方法 国際電気標準会議



国際電気標準会議(IEC)は8月に、RoHS 指令に関する分析試験法の原案をまとめます。環境諮問委員会(ACEA)の下に設置されたアドホック・ワーキンググループで、同分析試験法の検討を開始しており、当面、カドミウムなど6物質について、スクリーニングで活用する蛍光X線装置の測定法などの検討を進めます。その後、IECの下部組織である標準管理評議会(SMB)で、技術委員会(TC)の設置が順調に可決されれば、今秋にもTCで標準化に向けた作業が始まり、遅くとも2005年7月までには規格化する見通しです。

IECの国内受け皿として日本規格協会に設置されている「電気・電子機器における環境分野の国際規格適正化調査委員会」が5月末に開催されました。また、国際会議には、アドホックWGに参加し、蛍光X線による測定法のたたき台作成に向けて活動を開始しました。一方、環境配慮設計(ECD)については、先にIECの活動推進評議会(APC)のACEA分科会で、日本案を主体としたECDガイド案をIECに提案しています。

今後、同TCでECDガイドの標準化に向けて作業を進め、その後、そのガイド標準化を基にJIS規格を作成します。経済産業省では新TCで日本が幹事国となり、座長に国内の大学教授を据えたい意向です。

資料:2004年7月14日付 環境新聞 p.1

機器分析個所 市川 雅俊

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

